

平成 25 年度

尾鷲市水道事業  
要覧

# 目次

I. 水道事業の沿革	
1. 尾鷲市のあゆみ	1
2. 水道事業の沿革	1
II. 機 構	
1. 機構図	2
2. 職員配置状況	2
3. 事務分掌	2
III. 配水・給水	
1. 事業別取水内訳	3
2. 上水道月別配水量	3
3. 給水状況の推移	4
4. 口径別給水件数	5
5. 口径別使用量	6
6. 使用量別集計	7
7. 年度別件数/使用量/使用料金の推移	8～9
8. 水道料金表	10
9. 水道料金分析表	11
10. 料金徴収方法別件数	11
11. 検針員及び徴収員の人数	11
12. 漏水事故発生件数	12
13. 給水加入状況	13
14. 管路延長	14～16
IV. 財務状況	
1. 損益計算書	17
2. 貸借対照表	18
3. 資本的収支	19
4. 費用構成表	20
5. 費用構成表【25年度】	21
6. 企業債の概要	22
V. 経営分析	
1. 資産及び資本構成比率	23
2. 回転率	24
3. 損益に関する比率	25
4. その他比率	26
5. 経営指標一覧表	27～33
VI. 施設概要	
1. 水源施設数	34
2. 各施設ポンプ能力	35
3. 電力使用量	36
4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表	37
5. 施設住所	38
VII. 設備	
1. 上水道	39～45
2. 簡易水道	46～52

# I. 水道事業の沿革

## 1. 尾鷲市のあゆみ

尾鷲市は、三重県南部東紀州地域の中央に位置し、市域は東西21km、南北19kmで、総面積は193.16km<sup>2</sup>を有しています。

歴史的には、江戸時代に林業、漁業を中心に繁栄し、江戸や大阪へ回船が行き来し、昭和初期まで栄えてきました。

戦後、昭和29年に尾鷲町、須賀利村、九鬼村、北輪内村、南輪内村が合併して、現在の尾鷲市が誕生し、その後、日本の経済成長とともに、水力発電所建設に始まり、国鉄紀勢本線の全面開通、尾鷲三田火力発電所の建設、国道42号の大改修などのビッグプロジェクトを経て、人口や経済が進展し、本市の基盤を形成しました。

しかし、その後のいわゆる「高度経済成長期」以降においては、尾鷲市から大都市に向かって若い人たちが流出し始め、過疎・高齢化による漁業、林業の後継者不足が進み、継続的に人口が減少しています。これまでも、さまざまな対策を行ってきましたが、過疎・少子高齢化に歯止めをかけることはできず、経済活動の縮小による企業の撤退や商店の閉鎖などが続いています。

尾鷲市には、美味しい魚や尾鷲ヒノキ、海洋深層水、熊野古道など海・山の資源や未開発の自然などの魅力がたくさんあります。この資源や魅力を活用し、市民と行政が力を合わせ、共に知恵を出し合い、また、外部（産学、来訪者など）の協力を得ることで、まちに活気を取り戻し、市民や訪れる人々が幸せや心の豊かさを得られるまちにすることが大切です。

このような中、本市においては、平成24年度より平成33年度を目標年度とした第6次尾鷲市総合計画を策定し、将来の都市像を「共に創り 未来につなぐ 誇れるまち おわせ」として、市民一人ひとりが、尾鷲市の資源・魅力に愛着や誇りを持ち、それらを活かしたまちづくりを行っていくことが、新たな尾鷲市の歴史を築いていく原動力となり、尾鷲が尾鷲らしく輝けるまち、ふるさととして誇れるまち、子や孫と共に暮せるまち、住みよいまちを、市民と行政が共に創り、次の世代につなげていくことを目標にまちづくりに取り組んでいます。

## 2. 水道事業の沿革

尾鷲市には、現在、上水道事業の他に、須賀利簡易水道事業、九鬼簡易水道事業、早田簡易水道事業、三木浦簡易水道事業、三木里簡易水道事業、賀田・古江簡易水道事業、曾根簡易水道事業、梶賀簡易水道事業の8簡易水道事業が存在しています。

上水道事業は、上水道認可を昭和35年3月に創設し、その後、国鉄紀勢本線の全線開通及び尾鷲第二水力発電所完成に伴い昭和36年12月、事業変更により計画給水人口20,000人、日最大給水量10,000m<sup>3</sup>/日となり、市勢の発展とともに需要水量も増加してきました。

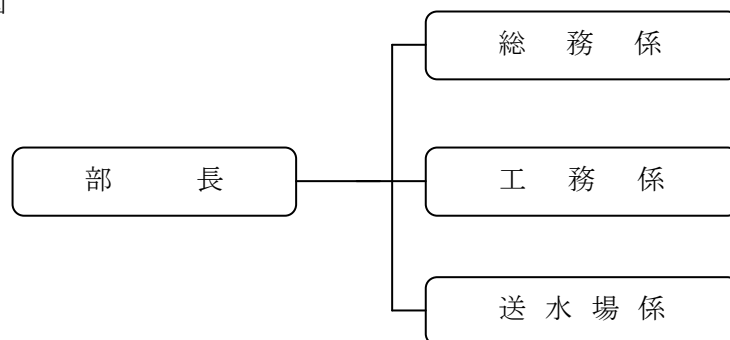
昭和53年3月に第1次拡張事業認可により、馬越簡易水道、大曾根簡易水道、行野簡易水道を上水道に統合し、計画給水人口26,000人、日最大給水量20,000m<sup>3</sup>/日とし、送配水施設の整備を行ってきました。

その後、人口減少などに伴う水需要の低迷のため、計画の見直しをはかり、昭和57年3月に第1次拡張第1次変更事業認可、平成15年3月に第1次拡張第2次変更認可、平成25年3月に第1次拡張第3次変更事業届出書により、計画給水人口16,500人、日最大給水量14,500m<sup>3</sup>/日となっております。

今後は南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生が予想されるなか、将来にわたって安全でおいしい水を安定供給するため、水道施設の老朽化や、地震災害対策を計画的に推進するとともに、良質な水道水源確保のための水質保全を積極的に推進する必要があります。

## Ⅱ．機構

### 1. 機構図



### 2. 職員配置状況

所属	事務	技師	計
部長		1	1
係長	1	1	2
総務係	2		2
工務係		3	3
送水場係		2	2
計	3	7	10

### 3. 事務分掌

#### 総務係

- (1) 業務の総合調整に関する事。
- (2) 職員の身分取扱に関する事。
- (3) 予算、決算に関する事。
- (4) 出納その他の会計事務に関する事。
- (5) 契約に関する事。
- (6) 資産の管理に関する事。(ただし貯蔵品の管理を除く。)
- (7) 広報宣伝に関する事。
- (8) 文書及び公印の管理に関する事。
- (9) 業務統計に関する事。
- (10) 量水器の点検に関する事。
- (11) 水道料金の調定及び徴収に関する事。
- (12) その他の係の所掌に属しない事。

#### 工務係

- (1) 水道施設の企画設計及び工事施行に関する事。
- (2) 水道施設の維持管理に関する事。(ただし送水場及び加圧施設を除く。)
- (3) 給水装置に関する事。
- (4) 貯蔵品の管理に関する事。
- (5) その他水道施設に関する事。

#### 送水場係

- (1) 水道用水の浄水、送水並びに供給に関する事。
- (2) 給水記録の整理報告に関する事。
- (3) 送水場及び加圧施設に関する事。
- (4) その他送水施設に関する事。

### Ⅲ. 配水・給水

#### 1. 事業別取水内訳

施設名	取水方法	施設数	公称能力 ( $\text{m}^3/\text{日}$ )	取水量( $\text{m}^3$ )	1日平均 取水量( $\text{m}^3$ )
上水道	伏流水	2	10,000	2,500,935	6,852
	浅井戸	6	4,500	1,125,421	3,083
上水道 計		8	14,500	3,626,356	9,935
須賀利簡易水道	浅井戸	2	297	38,997	107
九鬼簡易水道	表流水	1	495	62,886	172
早田簡易水道	表流水	1	81	17,032	47
三木浦簡易水道	表流水	2	326	79,540	218
三木里簡易水道	伏流水	1	643	101,467	278
賀田・古江簡易水道	浅井戸	2	1,000	239,567	656
曾根簡易水道	表流水	1	84	27,063	74
梶賀簡易水道	表流水	1	152	24,214	66
簡易水道 計		12	3,078	590,766	1,618
合計		20	17,578	4,217,122	11,553

#### 2. 上水道月別配水量

年 月	区分	配水量 ( $\text{m}^3$ )	1日平均 配水量( $\text{m}^3$ )	1日最大 配水量( $\text{m}^3$ )
平成 22 年度		3,921,996	10,745	12,736
平成 23 年度		3,769,482	10,299	13,881
平成 24 年度		3,673,031	10,063	12,829
平成 25 年 4 月		303,973	10,132	10,916
平成 25 年 5 月		297,493	9,597	11,426
平成 25 年 6 月		312,524	10,417	11,918
平成 25 年 7 月		298,636	9,633	12,318
平成 25 年 8 月		327,744	10,572	11,751
平成 25 年 9 月		319,322	10,644	11,517
平成 25 年 10 月		299,987	9,677	10,784
平成 25 年 11 月		304,233	10,141	11,099
平成 25 年 12 月		292,770	9,444	10,849
平成 26 年 1 月		303,578	9,793	10,861
平成 26 年 2 月		297,334	10,619	10,878
平成 26 年 3 月		268,762	8,670	11,806
平成 25 年度 計		3,626,356	9,935	12,318
増加量		$\Delta 46,675$	$\Delta 128$	$\Delta 511$
増加率(%)		$\Delta 1.27$	$\Delta 1.27$	$\Delta 3.98$

### 3. 給水状況の推移

#### (1)年度別

項目 \ 年度	20	21	22	23	24	25
計画給水人口(人)	27,900	27,900	27,900	27,900	27,900	26,900
行政区域内人口(人)	21,707	21,348	20,986	20,524	20,117	19,691
給水人口(人)	21,675	21,319	20,958	20,494	20,089	19,662
水道普及率(%)	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8	99.8
給水戸数(戸)	10,168	10,144	10,123	10,009	9,915	9,832
給水件数(件)	11,366	11,380	11,364	11,168	11,090	10,954
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	4,819	4,665	4,756	4,577	4,392	4,217
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	3,470	3,370	3,370	3,289	3,143	3,057
有収率(%)	71.99	72.24	70.86	71.85	71.56	72.50
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	146.51	146.09	147.13	154.21	163.41	163.74
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	141.52	141.06	141.41	184.41	184.41	184.06
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	13,202	12,780	13,029	12,506	12,034	11,553
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	20,154	17,385	15,618	16,607	15,621	15,315

#### (2)平成25年度事業別

項目 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
計画給水人口(人)	16,500	1,000	2,200	270	1,160	1,670	2,500	700	900
行政区域内人口(人)	16,021	272	492	156	606	696	1,092	173	183
給水人口(人)	15,997	272	492	156	606	691	1,092	173	183
水道普及率(%)	99.9	100.0	100.0	100.0	100.0	99.3	100.0	100.0	100.0
給水戸数(戸)	7,730	168	295	95	321	391	619	108	105
給水件数(件)	8,411	219	383	115	376	435	763	129	123
配水量(千m <sup>3</sup> /年)	3,626	39	63	17	80	101	240	27	24
有収水量(千m <sup>3</sup> /年)	2,624	27	55	16	67	82	146	21	19
有収率(%)	72.37	69.23	87.30	94.12	83.75	81.19	60.83	77.78	79.17
給水原価(円/m <sup>3</sup> )	152.72	230.45							
供給単価(円/m <sup>3</sup> )	184.94	178.72							
1日平均配水量(m <sup>3</sup> )	9,935	107	172	47	218	278	656	74	66
1日最大配水量(m <sup>3</sup> )	12,318	172	247	65	387	507	1,379	96	144

#### 4. 口径別給水件数

##### (1) 年度別

口径 \ 年度	20	21	22	23	24	25
φ 13	10,160	10,169	10,160	9,977	9,891	9,755
φ 20	908	917	912	904	912	909
φ 25	142	145	142	139	140	142
φ 30	52	48	49	47	46	48
φ 40	56	55	56	55	56	56
φ 50	35	34	33	34	33	33
φ 75	9	9	9	9	9	8
φ 100	2	1	2	2	2	2
φ 150	1	1	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	1	1	1	1	1
合計	11,366	11,380	11,364	11,168	11,090	10,954

##### (2) 平成25年度事業別

口径 \ 事業	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 13	7,361	209	358	110	354	410	716	120	117
φ 20	806	7	21	3	12	18	34	5	3
φ 25	117	3	1	1	6	2	7	3	2
φ 30	40	0	1	0	3	2	1	0	1
φ 40	46	0	2	1	1	2	3	1	0
φ 50	31	0	0	0	0	0	2	0	0
φ 75	7	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 100	2	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 150	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 200	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 250	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	8,411	219	383	115	376	435	763	129	123

5. 口径別使用量

(1) 年度別

[単位:千㎡]

口径 \ 年度	20	21	22	23	24	25
φ 1 3	2,222	2,175	2,142	2,040	1,962	1,931
φ 2 0	278	292	292	273	254	252
φ 2 5	97	102	108	103	99	95
φ 3 0	77	80	83	77	73	80
φ 4 0	146	137	132	130	141	136
φ 5 0	279	247	245	245	235	232
φ 7 5	163	158	158	147	130	123
φ 1 0 0	6	4	10	17	23	15
φ 1 5 0	5	7	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	201	170	200	257	226	193
合計	3,474	3,372	3,370	3,289	3,143	3,057

(2) 平成25年度事業別

[単位:千㎡]

事業 \ 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
φ 1 3	1,578	26	48	15	60	63	111	14	16
φ 2 0	224	1	3	0	2	4	16	1	1
φ 2 5	73	0	0	0	2	13	2	3	2
φ 3 0	76	0	0	0	1	1	1	0	1
φ 4 0	122	0	4	0	2	1	4	3	0
φ 5 0	220	0	0	0	0	0	12	0	0
φ 7 5	122	0	0	0	0	1	0	0	0
φ 1 0 0	15	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 1 5 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 0 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ 2 5 0	193	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,623	27	55	15	67	83	146	21	20



## 6. 使用量別集計

### (1) 上水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	3,258	823,173
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	2,369	541,771
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,663	283,614
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	841	183,219
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	181	109,050
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	78	231,323
501 m <sup>3</sup> 以上	21	451,496
合計	8,411	2,623,646

### (2) 簡易水道

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	1,529	208,979
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	651	107,758
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	246	42,985
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	94	24,439
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	12	12,793
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	9	30,612
501 m <sup>3</sup> 以上	2	6,032
合計	2,543	433,598

### (3) 合計

使用量区分	件数	使用量[m <sup>3</sup> ]
0 m <sup>3</sup> ~10 m <sup>3</sup>	4,787	1,032,152
11 m <sup>3</sup> ~20 m <sup>3</sup>	3,020	649,529
21 m <sup>3</sup> ~30 m <sup>3</sup>	1,909	326,599
31 m <sup>3</sup> ~50 m <sup>3</sup>	935	207,658
51 m <sup>3</sup> ~100 m <sup>3</sup>	193	121,843
101 m <sup>3</sup> ~500 m <sup>3</sup>	87	261,935
501 m <sup>3</sup> 以上	23	457,528
合計	10,954	3,057,244

7. 年度別件数・使用量・使用料金の推移

(1) 上水道

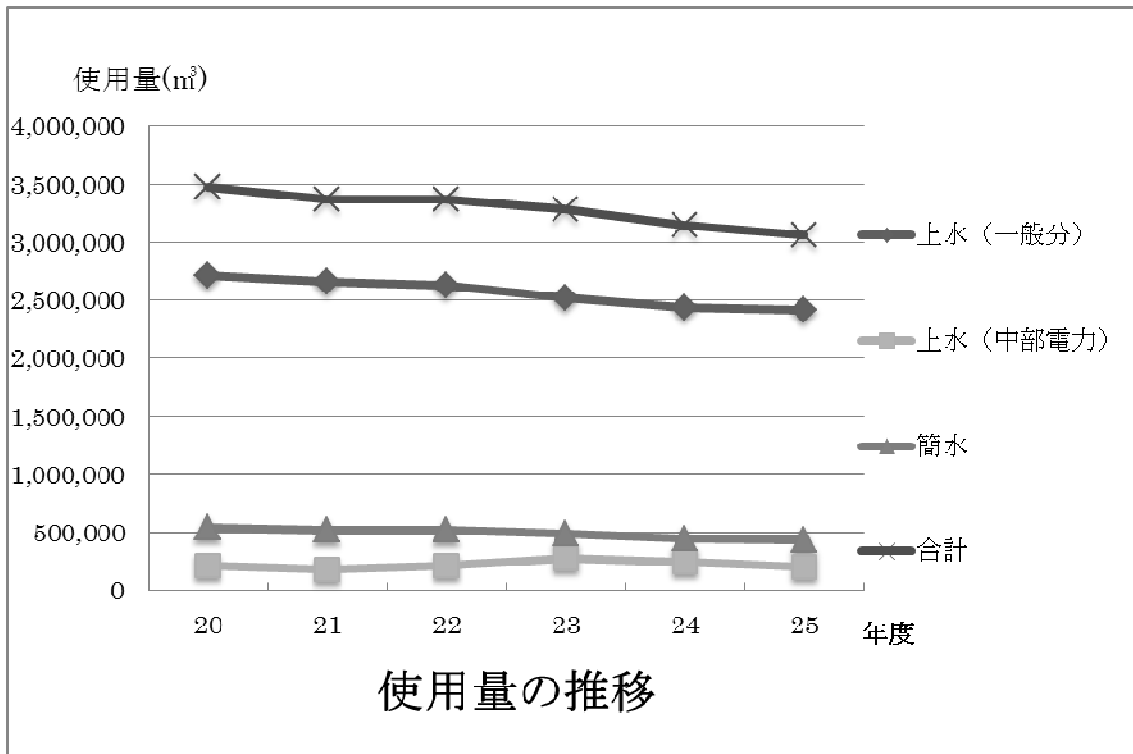
[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	20	21	22	23	24	25
一般分	件数		103,316	103,373	103,449	102,697	101,961	101,296
	使用量		2,714,404	2,660,898	2,630,251	2,524,029	2,437,994	2,413,660
	使用料金		392,569	384,120	379,767	472,143	456,226	451,820
中部電力	件数		91	65	61	61	60	60
	使用量		217,166	187,916	216,754	277,744	251,171	209,986
	使用料金		46,900	41,169	45,741	73,631	67,363	57,659
合計	件数		103,407	103,438	103,510	102,758	102,021	101,356
	使用量		2,931,570	2,848,814	2,847,005	2,801,773	2,689,165	2,623,646
	使用料金		439,469	425,289	425,508	545,774	523,589	509,479

(2) 簡易水道

[単位：件・m<sup>3</sup>・千円]

事業		年度	20	21	22	23	24	25
須賀利	件数		2,963	2,908	2,868	2,820	2,735	2,670
	使用量		35,432	33,648	32,045	29,367	27,974	26,976
	使用料金		4,670	4,496	4,360	5,340	5,118	4,964
九鬼	件数		5,088	5,142	5,016	4,869	4,703	4,646
	使用量		75,107	68,030	66,726	62,588	59,815	55,358
	使用料金		10,867	9,816	9,616	11,743	11,270	10,520
早田	件数		1,540	1,506	1,530	1,493	1,466	1,392
	使用量		19,270	18,734	18,109	17,029	16,261	15,942
	使用料金		2,556	2,476	2,423	2,980	2,908	2,866
三木浦	件数		4,879	4,879	4,869	4,763	4,649	4,570
	使用量		81,398	79,655	78,838	72,861	70,704	67,120
	使用料金		10,771	10,509	10,532	12,662	12,317	11,611
三木里	件数		5,693	5,646	5,643	5,605	5,521	5,390
	使用量		92,580	95,106	94,472	89,172	83,511	82,330
	使用料金		13,165	13,691	13,637	16,951	16,004	15,662
古江 賀田	件数		10,109	10,016	9,852	9,685	9,506	9,367
	使用量		188,387	178,823	183,676	169,627	152,147	145,807
	使用料金		27,721	26,090	27,156	32,603	29,069	28,054
曾根	件数		1,632	1,595	1,629	1,637	1,587	1,583
	使用量		26,607	25,033	24,765	23,807	22,064	20,868
	使用料金		3,950	3,673	3,673	4,608	4,395	4,152
梶賀	件数		1,625	1,605	1,616	1,556	1,536	1,504
	使用量		24,434	23,681	24,499	22,500	21,420	19,197
	使用料金		3,394	3,370	3,493	4,151	3,918	3,539
合計	件数		33,529	33,297	33,023	32,428	31,703	31,122
	使用量		543,215	522,710	523,130	486,951	453,896	433,598
	使用料金		77,094	74,121	74,890	91,038	84,999	81,368



+

8. 水道料金表

(1) 水道加入金及び器具単価表

平成23年4月1日改正

口径	量水器加入金		φ13mm	φ20mm
13 mm	52,500 円			
20 mm	94,500 円			
25 mm	157,500 円			
30 mm	231,000 円			
40 mm	420,000 円			
50 mm	682,500 円			
75 mm	1,470,000 円			
100 mm以上は市長がその都度定める				
			φ13mm 一式	φ20mm 一式
		加入金	52,500 円	94,500 円
		直結止水栓	3,310 円	4,660 円
		メーターボックス	3,150 円	4,320 円
		加入金	52,500 円	94,500 円
		直結止水栓	3,310 円	4,660 円
		メーターボックス	3,150 円	4,320 円
設計審査及び工事検査手数料				
口径	新設	変更等工事		
13~20 mm	3,000 円	1,500 円	設計審査および 工事検査手数料	3,000 円
25~40 mm	4,500 円	2,300 円		3,000 円
50 mm	6,000 円	3,000 円	合計	61,960 円
				106,480 円

※ 公道止水栓ボックス 4,000 円

※ 上記価格は消費税込み(5%)の価格となります。

(2) 水道料金一覧表 (消費税率5%)

平成23年4月1日改正

用途	口径	基本料金		従量料金 (円) (1 m <sup>3</sup> 当たり)					
		水量	料金 (円)	10 m <sup>3</sup> 超 ~30 m <sup>3</sup> 以下	30 m <sup>3</sup> 超 ~50 m <sup>3</sup> 以下	50 m <sup>3</sup> 超 ~80 m <sup>3</sup> 以下	80 m <sup>3</sup> 超 ~150 m <sup>3</sup> 以下	150 m <sup>3</sup> 超 ~200 m <sup>3</sup> 以下	200 m <sup>3</sup> 超 ~
一般	13 mm	10 m <sup>3</sup> 以下	1,155.00	178.50	189.00	199.50	225.75	231.00	236.25
	20 mm		1,354.50						
	25 mm		2,551.50						
	30 mm		3,885.00						
	40 mm		8,389.50						
	50 mm		18,448.50						
	75 mm		34,608.00						
	100 mm		67,504.50						
	150 mm		144,522.00						
	250 mm		574,654.50						
臨時		1 m <sup>3</sup> 以下	985.95	1 m <sup>3</sup> 超	422.10				

私設消火栓 (演習用) 1回 212.10 円 ただし、1回5分間を超えることはできない。

※ 【水道料金】 = 【基本料金】 + 【従量料金】 (1円未満の端数は切り捨て)

## 9.水道料金分析表

### (1) 上水道 [一般分]

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成18年度	26.66 m <sup>3</sup>	3,837.76 円	143.972 円
平成19年度	26.57 m <sup>3</sup>	3,814.39 円	143.545 円
平成20年度	26.27 m <sup>3</sup>	3,799.69 円	144.620 円
平成21年度	25.74 m <sup>3</sup>	3,715.86 円	144.357 円
平成22年度	25.43 m <sup>3</sup>	3,671.05 円	144.384 円
平成23年度	24.58 m <sup>3</sup>	4,597.44 円	187.059 円
平成24年度	23.91 m <sup>3</sup>	4,474.51 円	187.132 円
平成25年度	23.83 m <sup>3</sup>	4,460.39 円	187.175 円

### (2) 簡易水道

年度	月1件当り使用水量	月1件当り水道料金	月1m <sup>3</sup> 当り水道料金
平成18年度	16.68 m <sup>3</sup>	2,343.88 円	140.533 円
平成19年度	16.45 m <sup>3</sup>	2,318.48 円	140.982 円
平成20年度	16.20 m <sup>3</sup>	2,291.71 円	141.452 円
平成21年度	15.70 m <sup>3</sup>	2,226.04 円	141.800 円
平成22年度	15.84 m <sup>3</sup>	2,267.80 円	143.157 円
平成23年度	15.02 m <sup>3</sup>	2,807.39 円	186.955 円
平成24年度	14.32 m <sup>3</sup>	2,681.10 円	187.265 円
平成25年度	13.93 m <sup>3</sup>	2,614.48 円	187.687 円

## 10. 料金徴収方法

	上水道		簡易水道		合計	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
口座振替	6,305	74.96%	2,207	86.79%	8,512	77.71%
クレジット	273	3.25%	18	0.70%	291	2.66%
集金	626	7.44%	133	5.23%	759	6.92%
納付書	1,172	13.93%	152	5.98%	1,324	12.09%
その他	35	0.42%	33	1.30%	68	0.62%
合計	8,411	100.00%	2,543	100.00%	10,954	100.00%

## 11. 検針員及び徴収員の人数

地区名 業務	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根・梶賀	合計
	検針	1	1	0	0	0	0	0	1	3
徴収	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
検針兼徴収	2	0	0	1	1	1	1	0	6	
合計	3	1	0	1	1	1	1	1	9	

※九鬼地区については、上水担当者が兼務

1 2. 漏水事故発生件数

業務	地区名	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	古江	賀田	曾根	梶賀	合計
平成 20 年度	本管	17	5	0	1	2	1	1	2	2	0	31
	取出	98	9	5	0	6	7	10	11	4	4	154
	送水管										3	3
	施設											0
	合計	115	14	5	1	8	8	11	13	6	7	188
平成 21 年度	本管	39	4	0	0	5	2	0	1	0	1	52
	取出	94	5	4	2	3	7	8	15	7	3	148
	送水管										3	3
	施設											0
	合計	133	9	4	2	8	9	8	16	7	5	201
平成 22 年度	本管	24	6	0	1	1	0	6	5	0	0	43
	取出	84	9	3	6	8	9	6	8	1	2	136
	送水管										1	1
	施設											0
	合計	108	15	3	7	9	9	12	13	1	3	180
平成 23 年度	本管	11	2	0	0	0	1	0	2	0	0	16
	取出	78	14	3	6	8	4	9	18	3	5	148
	送水管	1					1				1	3
	施設											0
	合計	90	16	3	6	8	6	9	20	3	6	167
平成 24 年度	本管	22	2	0	0	4	1	0	1	0	0	30
	取出	72	6	4	5	11	11	11	7	2	1	130
	送水管			1								1
	施設											0
	合計	94	8	5	5	15	12	11	8	2	1	161
平成 25 年度	本管	18	5	0	0	0	1	1	3	1	1	20
	取出	60	3	2	3	4	3	3	7	2	5	92
	送水管											0
	施設											0
	合計	78	8	2	3	4	4	4	10	3	6	122

本管：配水管本管・支管

取出：給水管・止水栓・量水器

1.3. 給水加入状況

(1) 年度別

[単位：件]

年度 口径	17	18	19	20	21	22	23	24	25
φ13	69	70	58	55	30	32	39	45	48
φ20	5	5	8	7	3	2	0	3	9
φ25	3	0	0	1	3	1	1	0	0
φ30	0	0	0	0	0	0	0	0	1
φ40	4	0	0	0	0	1	0	0	1
φ50	0	1	0	0	0	0	0	0	0
φ75	0	2	0	0	0	0	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	81	78	66	63	36	36	40	48	59

(2) 平成25年度事業別

[単位：件]

年度 口径	上水	須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田 古江	曾根	梶賀
φ13	48	0	0	0	0	0	0	0	0
φ20	8	0	0	0	0	1	0	0	0
φ25	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ30	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ40	1	0	0	0	0	0	0	0	0
φ50	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ75	0	0	0	0	0	0	0	0	0
φ100	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	58	0	0	0	0	1	0	0	0

口径変更

φ13→φ40	0	0	0	1	0	0	0	0	0
---------	---	---	---	---	---	---	---	---	---

#### 14. 管路延長

##### (1) 上水道口径別延長

[単位：m]

口径		年度					
		20	21	22	23	24	25
導水管	300 mm未満	290	290	290	290	290	290
	300～500 mm未満	132	132	132	132	132	132
	500～1,000 mm未満	85	85	85	85	85	85
	計	507	507	507	507	507	507
送水管	300 mm未満	112	109	109	109	106	106
	300～500 mm未満	1,453	1,313	1,313	1,313	1,313	1,313
	計	1,565	1,422	1,422	1,422	1,419	1,419
配水管	50 mm以下	27,871	27,696	27,696	27,872	27,755	27,755
	75 mm	33,079	33,398	33,398	33,308	33,390	33,390
	100 mm	24,849	24,849	24,894	24,894	24,805	24,805
	125 mm	2,764	2,764	2,764	2,764	2,764	2,764
	150 mm	12,776	12,776	12,776	13,414	13,466	13,466
	200 mm	3,757	3,757	3,772	3,772	3,720	3,720
	250 mm	126	126	126	126	126	126
	300 mm	10,076	10,076	10,076	10,076	10,076	10,076
	350 mm	0	0	0	0	0	0
	400 mm	771	771	771	771	771	771
	450 mm	0	0	0	0	0	0
	500 mm	312	312	312	312	312	312
	700 mm	13	13	13	13	13	13
	計	116,394	116,538	116,598	117,322	117,198	117,198
合計		118,466	118,467	118,527	119,251	119,124	119,124

【導水管】 水源から浄水場までの配管

【送水管】 浄水場から配水池までの配管

【配水管】 配水池から各家庭までの配管



## (2) 上水道管種別延長

[単位：m]

管種		年度						
		20	21	22	23	24	25	
導水管	ダクタイル鋳鉄管	507	507	507	507	507	507	
	計	507	507	507	507	507	507	
送水管	ダクタイル鋳鉄管	1,202	1,059	1,059	1,059	1,059	1,059	
	鋼管	363	363	363	363	360	360	
	計	1,565	1,422	1,422	1,422	1,419	1,419	
配水管	本管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	16,066	16,066	16,066	16,066	16,066	16,066
		鋼管	2,142	2,043	1,958	1,878	1,777	1,777
		石綿セメント管	0	0	0	0	0	0
		硬質塩化ビニル管	14,311	14,554	14,399	14,269	13,890	13,692
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	250	250	550	1,484	1,915	2,113
		ステンレス管	127	127	127	127	127	127
		その他	0	0	0	0	0	0
		計	32,896	33,040	33,100	33,824	33,775	33,775
	支管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0
		ダクタイル鋳鉄管	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211	8,211
		鋼管	3,480	3,480	3,480	3,480	3,474	3,474
		石綿セメント管	378	378	378	378	378	378
		硬質塩化ビニル管	70,513	70,513	70,513	70,513	70,444	70,444
		コンクリート管	0	0	0	0	0	0
		鉛管	0	0	0	0	0	0
		ポリエチレン管	905	905	905	905	905	905
		ステンレス管	11	11	11	11	11	11
		その他	0	0	0	0	0	0
計	83,498	83,498	83,498	83,498	83,423	83,423		
計	116,394	116,538	116,598	117,322	117,198	117,198		
合計		118,466	118,467	118,527	119,251	119,124	119,124	

## (3) 簡易水道管種別延長

[単位：m]

管種		地区							
		須賀利	九鬼	早田	三木浦	三木里	賀田古江	曾根	梶賀
導水管	ダクタイル鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鋼管	0	28	33	0	0	0	400	25
	硬質塩化ビニル管	0	0	0	842	0	0	0	0
	ポリエチレン管	0	0	181	0	0	0	0	605
	計	0	28	214	842	0	0	400	630
送水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	0	1,113	0	3,187	519	0	0	0
	鋼管	0	125	0	0	0	300	0	0
	その他	0	738	0	0	0	0	0	0
	計	0	1,976	0	3,187	519	300	0	0
配水管	鋳鉄管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダクタイル鋳鉄管	1,209	0	1,635	620	2,637	2,128	0	0
	鋼管	0	3,097	0	135	0	3,305	1,645	727
	石綿セメント管	0	0	0	0	0	0	0	0
	硬質塩化ビニル管	1,625	2,782	530	5,527	8,093	10,600	1,019	703
	コンクリート管	0	0	0	0	0	0	0	0
	鉛管	0	0	0	0	0	0	0	0
	ポリエチレン管	102	28	0	185	30	60	0	30
	ステンレス管	0	139	0	0	0	30	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	2,936	6,046	2,165	6,467	10,760	16,123	2,664	1,460
合計	2,936	8,050	2,379	10,496	11,279	16,423	3,064	2,090	

## (4) 管種別延長合計

[単位：m]

管種	事業		
	上水道	簡易水道	合計
導水管	507	2,114	2,621
送水管	1,419	5,982	7,401
配水管	117,198	48,621	165,819
合計	119,124	56,717	175,841

## IV. 財務状況

### 1. 損益計算書

[単位：千円]

科目		平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収益	営業収益	609,562	97.47%	581,862	97.86%	565,215	97.84%
	給水収益	606,488	96.98%	579,608	97.48%	562,711	97.41%
	受託工事収益	800	0.13%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計負担金	1,500	0.24%	1,470	0.25%	1,584	0.27%
	その他負担金	774	0.12%	784	0.13%	920	0.16%
	営業外収益	15,847	2.53%	12,728	2.14%	12,445	2.16%
	受取利息及び配当金	243	0.04%	367	0.06%	398	0.07%
	他会計補助金	5,421	0.86%	5,120	0.86%	4,772	0.83%
	その他雑収益	10,183	1.63%	7,241	1.22%	7,275	1.26%
	合計	625,409	100.00%	594,590	100.00%	577,660	100.00%
費用	営業費用	431,487	84.87%	440,111	85.63%	429,807	85.79%
	原水及び浄水費	75,454	14.84%	79,025	15.37%	80,615	16.09%
	配水及び給水費	56,914	11.19%	55,781	10.85%	55,736	11.13%
	受託給水工事費	800	0.16%	0	0.00%	0	0.00%
	業務費	46,794	9.20%	45,618	8.88%	45,505	9.08%
	総係費	38,266	7.53%	48,566	9.45%	42,107	8.40%
	減価償却費	210,412	41.39%	209,340	40.73%	201,089	40.14%
	資産減耗費	2,419	0.48%	1,418	0.28%	4,366	0.87%
	その他営業費用	428	0.08%	363	0.07%	389	0.08%
	営業外費用	76,905	15.13%	73,863	14.37%	71,179	14.21%
	支払利息	75,565	14.86%	72,454	14.10%	69,461	13.86%
	繰延勘定償却	1,094	0.22%	1,094	0.21%	1,094	0.22%
	雑支出	246	0.05%	315	0.06%	624	0.13%
	合計	508,392	100.00%	513,974	100.00%	500,986	100.00%
	経常利益（損失）	117,017		80,616		76,674	
特別利益							
特別損失	855		594		838		
純利益（損失）	116,162		80,022		75,836		
前年度繰越利益剰余金	52,646		53,808		53,808		
当年度末処分利益剰余金	168,808		133,830		129,644		

## 2. 貸借対照表

[単位：千円]

科目	年度	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
資産の部	1. 固定資産	5,932,912	91.11%	5,855,137	90.11%	6,307,752	80.25%
	(1)有形固定資産	5,932,106	91.10%	5,854,331	90.10%	6,306,946	80.24%
	イ. 土地	806,773	12.39%	806,773	12.42%	806,773	10.26%
	ロ. 建物	526,744	8.09%	514,530	7.92%	502,316	6.39%
	ハ. 構築物	3,405,853	52.30%	3,312,934	50.98%	3,938,110	50.10%
	ニ. 機械及び装置	1,143,015	17.55%	1,073,295	16.52%	1,054,595	13.42%
	ホ. 車両運搬具	1,632	0.03%	1,052	0.02%	518	0.01%
	ヘ. 工具器具及び備品	4,229	0.07%	4,627	0.07%	4,634	0.06%
	ト. 建設仮勘定	43,860	0.67%	141,120	2.17%	0	0.00%
	(2)無形固定資産	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	イ. 電話加入権	740	0.01%	740	0.01%	740	0.01%
	(3)投資	66	0.00%	66	0.00%	66	0.00%
	イ. 投資その他資産	66	0.00%	66	0.00%	66	0.00%
	2. 流動資産	574,376	8.82%	639,628	9.84%	1,550,441	19.72%
	(1)現金預金	555,564	8.53%	623,546	9.60%	1,513,667	19.26%
	(2)未収金	17,892	0.28%	15,112	0.23%	35,153	0.44%
(3)貯蔵品	882	0.01%	948	0.01%	1,612	0.02%	
(4)その他流動資産	38	0.00%	22	0.00%	9	0.00%	
3. 繰延勘定	4,374	0.07%	3,281	0.05%	2,187	0.03%	
(1)開発費	4,374	0.07%	3,281	0.05%	2,187	0.03%	
資産合計	6,511,662	100.00%	6,498,046	100.00%	7,860,380	100.00%	
負債の部	3. 固定負債	120,589	1.85%	103,890	1.60%	110,777	1.41%
	(1)引当金	120,589	1.85%	103,890	1.60%	110,777	1.41%
	イ. 修繕引当金	77,578	1.19%	79,467	1.22%	84,086	1.07%
	ロ. 退職給与引当金	43,011	0.66%	24,423	0.38%	26,691	0.34%
	4. 流動負債	29,639	0.46%	18,297	0.28%	842,086	10.71%
(1)未払金	28,639	0.44%	17,297	0.27%	657,498	8.36%	
(2)その他流動負債	1,000	0.02%	1,000	0.01%	184,588	2.35%	
負債合計	150,228	2.31%	122,187	1.88%	952,863	12.12%	
資本の部	5. 資本金	4,686,420	71.97%	4,600,753	70.80%	4,997,827	63.58%
	(1)自己資本金	1,184,721	18.19%	1,184,721	18.23%	1,184,721	15.07%
	(2)借入資本金	3,501,699	53.78%	3,416,032	52.57%	3,813,106	48.51%
	イ. 企業債	3,501,699	55.78%	3,416,032	52.57%	3,813,106	48.51%
	6. 剰余金	1,675,014	25.72%	1,775,106	27.32%	1,909,690	24.30%
	(1)資本剰余金	1,299,559	19.96%	1,319,629	20.31%	1,378,377	17.54%
	イ. 工事負担金	384,079	5.90%	386,699	5.95%	390,999	4.97%
	ロ. 国県補助金	413,736	6.35%	415,964	6.40%	444,072	5.65%
	ハ. 他会計補助金	342,662	5.26%	357,269	5.50%	382,692	4.87%
	ニ. 受贈財産評価額	101,263	1.56%	101,263	1.56%	101,263	1.29%
	ホ. その他資本剰余金	57,819	0.89%	58,434	0.90%	59,351	0.76%
	(2)利益剰余金	375,455	5.76%	455,477	7.01%	531,313	6.76%
	イ. 減債積立金	180,211	2.77%	245,211	3.77%	325,233	4.14%
ロ. 建設改良積立金	26,436	0.40%	76,436	1.18%	76,436	0.97%	
ハ. 当年度未処分利益剰余金	168,808	2.59%	133,830	2.06%	129,644	1.65%	
資本合計	6,361,434	97.69%	6,375,859	98.12%	6,907,517	87.88%	
負債資本合計	6,511,662	100.00%	6,498,046	100.00%	7,860,380	100.00%	

## 3. 資本の収支

[単位：千円]

科目	年度	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
収入	出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	他会計出資金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	給水加入金	2,205	5.58%	2,751	3.43%	4,515	0.69%
	上水道給水加入金	2,048	5.18%	2,352	2.93%	4,095	0.63%
	簡易水道給水加入金	157	0.40%	399	0.50%	420	0.06%
	補助金	19,847	50.20%	16,835	21.02%	56,013	8.55%
	国県補助金	0	0.00%	2,228	2.78%	29,605	4.52%
	他会計補助金	19,847	50.20%	14,607	18.24%	26,408	4.03%
	負担金	2,079	5.26%	615	0.77%	962	0.15%
	他会計負担金	2,079	5.26%	615	0.77%	962	0.15%
	企業債	15,400	38.96%	59,900	74.78%	593,300	90.61%
	上水道企業債	0	0.00%	53,900	67.29%	587,500	89.72%
	簡易水道企業債	15,400	38.96%	6,000	7.49%	5,800	0.89%
合計	39,531	100.00%	80,101	100.00%	654,790	100.00%	
支出	建設改良費	87,582	36.72%	139,632	48.96%	690,974	77.87%
	固定資産購入費	5,587	2.34%	4,774	1.67%	4,277	0.48%
	機械装置費	5,253	2.20%	3,714	1.30%	3,201	0.36%
	車両運搬具費	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	工具器具備品費	334	0.14%	1,061	0.37%	1,076	0.12%
	上水道施設整備費	55,651	23.33%	50,352	17.66%	39,466	4.45%
	工事請負費	55,651	23.33%	50,352	17.66%	39,466	4.45%
	委託料	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	簡易水道施設整備費	18,891	7.92%	6,533	2.29%	6,649	0.75%
	工事請負費	18,891	7.92%	6,533	2.29%	6,649	0.75%
	委託料	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	新桂山配水池更新事業	7,453	3.13%	77,973	27.34%	640,582	72.19%
	工事請負費	0	0.00%	59,260	20.78%	635,687	71.64%
	委託料 他	7,453	3.13%	18,713	6.56%	4,895	0.55%
	企業債償還金	150,913	63.28%	145,567	51.04%	196,225	22.12%
	上水道企業債償還金	111,854	46.90%	119,335	41.84%	173,829	19.59%
	簡易水道企業債償還金	39,059	16.38%	26,232	9.20%	22,396	2.53%
補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	106	0.01%	
国庫補助金返還金	0	0.00%	0	0.00%	106	0.01%	
合計	238,495	100.00%	285,199	100.00%	887,305	100.00%	
収入 - 支出		△ 198,964		△ 205,098		△ 232,515	
当年度分	損益勘定保留資金	171,776	86.34%	156,619	76.36%	29,818	12.83%
	過年度分	23,122	11.62%	42,148	20.55%	55,233	23.75%
	消費税資本の収支調整額	4,066	2.04%	6,331	3.09%	147,464	63.42%
	減債積立金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	建設改良積立金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
	合計	198,964	100.00%	205,098	100.00%	232,515	100.00%

4. 費用構成表【年度別】

[単位：千円]

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
職員給与費	74,041	14.59%	73,466	14.32%	72,002	14.40%
(1) 基本給	38,362	7.56%	38,300	7.47%	36,177	7.24%
(2) 手当	21,278	4.19%	20,443	3.98%	21,668	4.33%
(3) 賃金	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(4) 退職給与費	1,683	0.33%	1,962	0.38%	2,268	0.45%
(5) 法定福利費	12,718	2.51%	12,761	2.49%	11,889	2.38%
支払利息	75,565	14.90%	72,454	14.13%	69,461	13.89%
(1) 一時借入金利息	0	0.00%	0	0.00%	0	0.00%
(2) 企業債利息	75,565	14.90%	72,454	14.13%	69,461	13.89%
減価償却費	210,412	41.48%	209,340	40.82%	201,089	40.23%
動力費	35,214	6.94%	37,419	7.30%	39,449	7.89%
光熱水費	599	0.12%	620	0.12%	626	0.13%
通信運搬費	5,033	0.99%	5,064	0.99%	5,040	1.01%
修繕費	24,523	4.83%	30,472	5.94%	30,982	6.20%
材料費	14,824	2.92%	6,299	1.23%	4,745	0.95%
薬品費	2,180	0.43%	2,267	0.44%	2,485	0.50%
路面復旧費	1,785	0.35%	2,131	0.41%	2,254	0.45%
委託料	44,069	8.69%	55,263	10.77%	50,513	10.10%
その他	19,053	3.76%	18,086	3.53%	21,246	4.25%
合計	507,298	100.00%	512,881	100.00%	499,892	100.00%

## 5. 費用構成表【平成25年度】

[単位：千円]

		原水・浄水	配水・給水	業務	総係	その他	合計
基本給	給料	10,608	9,650	0	15,919	0	36,177
	扶養手当	631	1,021	0	468	0	2,120
手当	時間外手当	1,079	725	0	871	0	2,675
	特殊勤務手当	60	60	0	0	0	120
	管理職手当	0	0	0	534	0	534
	通勤手当	202	74	0	69	0	345
	住居手当	288	216	0	0	0	504
	期末勤勉手当	4,021	3,752	0	6,067	0	13,840
	児童手当	390	720	0	420	0	1,530
退職給与金		0	0	0	2,268	0	2,268
法定福利費		3,434	3,142	0	5,313	0	11,889
支払利息		0	0	0	0	69,461	69,461
減価償却費		0	0	0	0	201,089	201,089
動力費		33,212	6,237	0	0	0	39,449
光熱水費		345	281	0	0	0	626
通信運搬費		3,256	0	1,466	318	0	5,040
修繕費		6,745	18,168	5,871	198	0	30,982
材料費		0	4,745	0	0	0	4,745
薬品費		2,485	0	0	0	0	2,485
路面復旧費		0	2,254	0	0	0	2,254
委託料		9,364	3,795	31,604	5,750	0	50,513
その他	旅費	3	0	0	25	0	28
	被服費	0	0	0	98	0	98
	備消耗品費	235	269	1,582	313	0	2,399
	燃料費	506	208	84	92	0	890
	印刷製本費	0	0	302	48	0	350
	手数料	1,617	209	2,135	221	0	4,182
	賃借料	2,000	3	2,461	2,077	0	6,541
	広告料	0	0	0	29	0	29
	保険料	111	195	0	137	0	443
	食糧費	0	0	0	0	0	0
	公課費	23	13	0	30	0	66
	負担金	0	0	0	617	0	617
	工事請負費	0	0	0	0	0	0
	材料売却原価	0	0	0	0	389	389
	研修費	0	0	0	158	0	158
	報酬	0	0	0	66	0	66
	固定資産除去費	0	0	0	0	4,366	4,366
雑支出	0	0	0	0	624	624	
合計		80,615	55,736	45,505	42,107	275,929	499,892

## 6. 企業債の概要

### (1) 上水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	18	2,057,700,000	48.60%	1,574,344,734	45.76%
公営企業金融公庫	24	2,176,300,000	51.40%	1,866,434,906	54.24%
合計	42	4,234,000,000	100.00%	3,440,779,640	100.00%

### (2) 簡易水道

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	12	357,400,000	61.53%	181,364,392	48.71%
公営企業金融公庫	11	223,500,000	38.47%	190,962,323	51.29%
合計	23	580,900,000	100.00%	372,326,715	100.00%

### (3) 合計

[単位：円]

借入先	件数	発行総額	構成比	未償還残高	構成比
財務省資金運用部	30	2,415,100,000	50.16%	1,755,709,126	46.04%
公営企業金融公庫	35	2,399,800,000	49.84%	2,057,397,229	53.96%
合計	65	4,814,900,000	100.00%	3,813,106,355	100.00%



## V. 経営分析

### 1. 資産及び資本構成比率

項目	算式	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
固定資産 構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	93.14	91.11	90.11	$\frac{6,307,753}{6,307,753 + 1,550,441 + 2,187} \times 100 = 80.25$	総資産における固定資産の割合。固定資産の増大は、固定費の増加や資産の固定化をもたらすため、比率は低い方が望ましい。
固定負債 構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	57.74	55.63	54.17	$\frac{110,777 + 3,813,106}{7,860,380} \times 100 = 49.92$	総資本に対する長期負債の割合を表し、経営の長期的安全性を測る指標で、比率は低い方が望ましい。
自己資本 構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債} \cdot \text{資本合計}} \times 100$	41.74	43.90	45.55	$\frac{1,184,721 + 1,909,690}{7,860,380} \times 100 = 39.37$	総資本に対する自己資本の割合を表す指標で、比率の高い方が経営の安全性は高いと言える。
固定資産対 長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{固定負債}} \times 100$	93.62	91.53	90.36	$\frac{6,307,753}{4,997,827 + 1,909,690 + 110,777} \times 100 = 89.88$	固定資産の調達に、自己資本と固定負債の範囲内で行われるべきであるため、比率は100以下であることが必要。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	223.12	207.46	197.82	$\frac{6,307,753}{1,184,721 + 1,909,690} \times 100 = 203.84$	固定資産が自己資本でどの程度賅われているかを示す指標で、比率が低いほど良く、高いと借入金での資金調達を示し財政的不安定を意味する。
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	1,319.61	2,429.68	3,496.00	$\frac{1,550,441}{842,086} \times 100 = 184.12$	短期債務に対する支払い能力を示す指標。比率は100以上必要で、資金量を示すことから高いほど良い。
酸性試験比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	1,315.85	2,425.79	3,490.70	$\frac{1,513,667 + 35,153}{842,086} \times 100 = 183.93$	流動資産の内現金預金及び現金化されるものによる支払い能力を見る。比率は100以上が適当。
現金比率[%]	$\frac{\text{現金預金}}{\text{流動負債}} \times 100$	1,271.68	2,350.10	3,408.10	$\frac{1,513,667}{842,086} \times 100 = 179.75$	支払い能力を表す指標。比率は100以上が望ましい。

2. 回転率

項目	算式	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
自己資本 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本}+\text{期末自己資本})\times 1/2}$	0.18	0.22	0.20	$\frac{565,215 - 0}{(2,959,827 + 3,094,411) \times 1/2} = 0.19$	投下した自己資本に対し、どれだけの営業収益が生じているか、すなわち自己資本の活動率を示す。
固定資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産}+\text{期末固定資産})\times 1/2}$	0.08	0.10	0.10	$\frac{565,215 - 0}{(5,855,137 + 6,370,753) \times 1/2} = 0.09$	固定資産の利用度を示す数値で、高い値ほど固定資産が十分に活用されていることを示す。
流動資産 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産}+\text{期末流動資産})\times 1/2}$	1.07	1.19	0.96	$\frac{565,215 - 0}{(639,628 + 1,550,441) \times 1/2} = 0.52$	一般的には高い値ほど良好であるが、流動資産の過少から高くなるものには、注意が必要である。
未収金 回転率[回]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金}+\text{期末未収金})\times 1/2}$	31.00	37.06	35.26	$\frac{565,215 - 0}{(15,112 + 35,153) \times 1/2} = 22.49$	未収金の回収速度を示すもので、高い値ほど未収金が未回収のまま残留する期間が短いことを示している。
減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産}+\text{無形固定資産}-\text{土地}-\text{建設仮勘定}+\text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.87	3.98	4.09	$\frac{201,089}{6,306,947 + 740 - 806,773 - 0 + 201,089} \times 100 = 3.53$	減価償却費が適当か否か及び統一的な償却方法がとられているか否かを示す比率で年度により極端に変動していれば検討を要する。

(注) 自己資本=自己資本金+剰余金

3. 損益に関する比率

項目	算式	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
純資本利益率[%]	$\frac{\text{当年度経常利益}}{(\text{期首総資本} + \text{期末総資本}) \times 1/2} \times 100$	△ 0.06	1.80	1.24	$\frac{76,674}{(6,498,045 + 7,860,380) \times 1/2} \times 100 = 1.07$	投下した資本に対する利益率で、大きい方が良い。
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	99.05	122.81	115.55	$\frac{577,660}{501,824} \times 100 = 115.11$	全体的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{経常収益}}{\text{経常費用}} \times 100$	99.18	123.02	115.68	$\frac{577,660}{500,986} \times 100 = 115.30$	経常的な経営収支状態を示す比率。 100以下は赤字。
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	114.59	141.35	132.21	$\frac{565,215 - 0}{429,807 - 0} \times 100 = 131.50$	主要事業での経営収支状態を示すもので、大きいほど良く100以下ならば原価に見合った収益確保の必要がある。
利子負担率[%]	$\frac{\text{支払利息} + \text{企業債取扱諸費}}{\text{一時借入金} + \text{借入資本金}} \times 100$	2.16	2.16	2.12	$\frac{69,461 + 0}{0 + 3,813,106} \times 100 = 1.82$	負債に対する支払利息の比率、言い換えれば平均利率。
企業債償還元金 対減価償却額比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{当年度減価償却費}} \times 100$	73.16	71.72	69.54	$\frac{196,225}{201,089} \times 100 = 97.58$	企業債の発行が経営規模に比べ適正かどうかを示す指標。 100以下が望ましい。
企業債償還元金 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	32.27	24.88	25.11	$\frac{196,225}{562,711} \times 100 = 34.87$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で、低いほど良い。
企業債利息 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	16.47	12.46	12.50	$\frac{69,461}{562,711} \times 100 = 12.34$	企業債発行額が事業規模に適正かを判断する基準で低いほど良い。
職員給与費 対給水収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	15.20	12.21	12.68	$\frac{72,002}{562,711} \times 100 = 12.80$	人的サービスの占める割合で、当然低い方が良い。 比率は30%前後が適当。

(注) 総資本＝負債・資本合計

4. その他比率

項目	算式	22年度	23年度	24年度	25年度	備考
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	70.86	71.85	71.56	$\frac{3,057,244}{4,217,122} \times 100 = 72.50$	総配水量のうち、料金収入となった水量の割合。 高率ほど良い。
負荷率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日最大配水量}} \times 100$	83.42	75.31	77.04	$\frac{11,553}{15,315} \times 100 = 75.44$	施設が年間を通じて有効に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
施設利用率[%]	$\frac{\text{一日平均配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	56.46	54.19	52.14	$\frac{11,553}{17,578} \times 100 = 65.72$	施設が年間を通じて有効かつ適切に使用されているかどうかを見る指標で、比率は大きいほど良い。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{一日最大配水量}}{\text{一日配水能力}} \times 100$	67.67	71.96	67.69	$\frac{15,315}{17,578} \times 100 = 87.13$	100%以上の時は配水能力が最大配水量に不足し、100%を大きく下回る場合は最大給水施設を有していることを示す。
配水管使用効率 [m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{配水管総延長}}$	27.18	26.01	24.98	$\frac{4,217,122}{175,841} = 23.98$	導送配水管1m当たりの配水量を見て、その効率を測る。 量が多いほど使用効率が良い。
給水原価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{総費用}-\text{受託工事費}-\text{材料売却原価}-\text{不用品売却原価}-\text{特別損失}}{\text{年間総有収水量}}$	147.13	154.21	163.41	$\frac{501,824,257-0-388,990-0-838,206}{3,057,244} = 163.74$	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価
供給単価[円/m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	141.41	184.41	184.41	$\frac{562,711,355}{3,057,244} = 184.06$	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価
職員一人当り 給水人口[人]	$\frac{\text{給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	2,096	2,049	2,009	$\frac{19,662}{10} = 1,966$	職員数を他の事業体と単純に比較するのは難しいので、1人当たりの生産性により比較する。 数字は大きいほど生産性が高い。
職員一人当り 給水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	337,014	328,872	314,306	$\frac{3,057,244}{10} = 305,724$	
職員一人当り 営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	47,863	60,876	58,186	$\frac{565,215-0}{10} = 56,522$	
職員一人当り 有形固定資産[千円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{損益勘定職員数}+\text{資本勘定職員数}}$	606,699	593,211	585,433	$\frac{6,306,947}{10+0} = 630,695$	

## 5. 経営指標一覧表

### (1)事業の概況

項目	算式	24年度			25年度
		全国平均	全国同規模	尾鷲市	
普及率[%] (対行政区域内人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{行政区域内現在人口}} \times 100$	85.54	80.86	99.86	99.85
普及率[%] (対計画給水人口)	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{計画給水人口}} \times 100$	90.03	82.48	72.00	73.09
平均有収水量[l]	$\frac{\text{1日平均有収水量}}{\text{現在給水人口}}$	312	316	429	426
有収水量の用途別内訳[%] (家庭用)	$\frac{\text{1日平均有収水量}(\phi 25 \text{以下})}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	78.44	74.31	73.68	74.51
有収水量の用途別内訳[%] (工場用)	$\frac{\text{1日平均有収水量(電力)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	6.37	8.27	7.95	6.87
有収水量の用途別内訳[%] (その他)	$\frac{\text{1日平均有収水量(その他)}}{\text{1日平均有収水量(合計)}} \times 100$	15.19	17.42	18.37	18.62

### (2)収益性に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
総収支比率[%]	$\frac{\text{総収益}}{\text{総費用}} \times 100$	108.81	107.27	115.55	115.11	収益性をみる際の最も代表的な指標。
経常収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} + \text{営業外収益}}{\text{営業費用} + \text{営業外費用}} \times 100$	109.12	107.57	115.68	115.30	
営業収支比率[%]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{\text{営業費用} - \text{受託工事費用}} \times 100$	116.27	112.64	132.21	131.50	収益性を見るための指標。比率が高いほど利益率がよい。
自己資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首自己資本} + \text{期末自己資本})/2}$	0.123	0.119	0.200	0.187	自己資本に対する営業収益の割合。比率が高いほど投下資本に比して営業活動が活発
総資本回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2}$	0.080	0.079	0.089	0.079	総資本に対する営業収益の割合
固定資産回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首固定資産} + \text{期末固定資産})/2}$	0.090	0.091	0.099	0.093	固定資産に対する営業収益の割合。高いほど施設が有効に稼働している。
未収金回転率[回]	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首未収金} + \text{期末未収金})/2}$	6.662	6.527	35.26	22.49	未収金の回収速度を示す指標。高い程よい。
総資本利益率[%]	$\frac{\text{経常利益} - \text{経常損失}}{(\text{期首負債資本合計} + \text{期末負債資本合計})/2} \times 100$	0.71	0.60	1.24	1.07	総資本の収益性を表す指標。高い程総合的な収益性が高い。

※ 自己資本＝自己資本金＋剰余金

## (3)資産の状態に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
企業債償還元金 対減価償却費比率[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{減価償却費}} \times 100$	71.91	73.55	69.54	97.58	投下資本の回収と再投資とのバランスを見る指標。
有形固定資産減価償却率[%]	$\frac{\text{有形固定資産減価償却累計額}}{\text{有形固定資産帳簿原価}} \times 100$	38.96	38.07	36.86	36.16	償却資産における減価償却済の割合を示す比率
当年度減価償却率[%]	$\frac{\text{当年度減価償却費}}{\text{有形固定資産} + \text{無形固定資産} - \text{土地} - \text{建設仮勘定} + \text{当年度減価償却費}} \times 100$	3.30	3.11	4.09	3.53	償却対象固定資産に対する平均償却率である。

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全国平均	全国同規模	尾鷲市		
有収水量1 m <sup>3</sup> 当たり						
有形固定資産[円]	$\frac{\text{有形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	1,694.79	1,880.36	1,862.62	2,062.95	
無形固定資産[円]	$\frac{\text{無形固定資産}}{\text{年間総有収水量}}$	14.62	33.01	0.24	0.24	
資産合計[円]	$\frac{\text{資産合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,943.59	2,205.55	2,067.43	2,571.07	
負債合計[円]	$\frac{\text{負債合計}}{\text{年間総有収水量}}$	45.11	41.20	38.88	311.67	
資本合計[円]	$\frac{\text{資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	1,898.47	2,164.36	2,028.55	2,259.39	
借入資本金[円]	$\frac{\text{借入資本合計}}{\text{年間総有収水量}}$	619.93	685.13	1,086.85	1,247.24	
自己資本金[円]	$\frac{\text{自己資本金}}{\text{年間総有収水量}}$	468.16	515.30	376.93	387.51	
利益剰余金[円]	$\frac{\text{利益剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	85.06	97.64	144.92	173.79	
資本剰余金[円]	$\frac{\text{資本剰余金}}{\text{年間総有収水量}}$	725.33	866.28	419.85	450.86	
企業債現在高[円]	$\frac{\text{企業債}}{\text{年間総有収水量}}$	619.33	683.44	1,086.85	1,247.24	

## (4)財務比率に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 平	全 国 均	全 国 同 規 模		
流動比率[%]	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	760.69	915.50	3,495.95	184.12	短期債務に対する支払い能力を表している。100%以上であることが必要
当座比率[%]	$\frac{\text{現金預金} + \text{未収金}}{\text{流動負債}} \times 100$	722.38	882.50	3,490.65	183.93	短期債務に対する支払能力を表す比率。
流動資産回転率	$\frac{\text{営業収益} - \text{受託工事収益}}{(\text{期首流動資産} + \text{期末流動資産}) / 2}$	0.687	0.624	0.959	0.516	流動資産の経営活動における回転度を表す。
自己資本構成比率[%]	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	65.78	67.07	45.55	39.37	総資本に占める自己資本の割合。高いほど経営の安全性が高い。
固定資産構成比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定資産} + \text{流動資産} + \text{繰延勘定}} \times 100$	88.49	87.07	90.11	80.25	資産合計中の固定資産の割合を表す。低い方が柔軟な経営が可能となる。
固定資産 対長期資本比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{固定負債} + \text{資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	89.84	88.47	90.36	89.88	事業の固定的・長期的安全性をみる指標。
固定比率[%]	$\frac{\text{固定資産}}{\text{自己資本金} + \text{剰余金}} \times 100$	134.51	130.08	197.82	203.84	自己資本がどの程度固定資産に投下されているかをみる指標。
固定負債構成比率[%]	$\frac{\text{固定負債} + \text{借入資本金}}{\text{負債資本合計}} \times 100$	32.71	31.54	54.17	49.92	他人資本依存度を示す指標。

## (5)施設の効率性に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
施設利用率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	59.84	55.68	52.14	65.72	施設の利用状況を総合的に判断する為の指標。
最大稼働率[%]	$\frac{\text{1日最大配水量}}{\text{1日配水能力}} \times 100$	70.91	69.65	67.74	87.13	
負荷率[%]	$\frac{\text{1日平均配水量}}{\text{1日最大配水量}} \times 100$	84.39	79.94	76.98	75.44	施設が有効に使用されているかどうかをみる指標。 高いほど良い。
有収率[%]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{年間総配水量}} \times 100$	85.69	83.18	71.56	72.50	施設の稼働状況がそのまま収益につながっているかについての比率。
固定資産使用効率[m <sup>3</sup> /万円]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{有形固定資産}}$	6.89	6.39	7.50	6.69	有形固定資産に対する年間総配水量の割合。 高いほど施設が効率的である。
配水管 100m当たり 給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{配水管延長}}$	14.00	11.00	12.12	11.86	施設の有効性を示す指標。
配水管使用効率[m <sup>3</sup> /m]	$\frac{\text{年間総配水量}}{\text{導送配水管延長}}$	16.99	13.63	24.98	23.98	施設の効率性を示す指標。



## (6)生産性に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
職員1人あたり						
給水人口[人]	$\frac{\text{現在給水人口}}{\text{損益勘定職員数}}$	3,516	2,986	2,009	1,966	職員1人あたりの生産性について把握するための指標。大きいほど良い。
有収水量[m <sup>3</sup> ]	$\frac{\text{年間総有収水量}}{\text{損益勘定職員数}}$	400,777	344,013	314,306	305,724	
営業収益[千円]	$\frac{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	62,027	59,945	58,186	56,522	
給水収益[千円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{損益勘定職員数}}$	60,016	58,117	57,961	56,271	
職員給与費 対営業収益比率[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{営業収益}-\text{受託工事収益}} \times 100$	12.82	12.21	12.16	12.74	
有収水量1万m <sup>3</sup> /1日当たり 損益勘定職員数[人]	$\frac{\text{損益勘定職員数}}{\text{有収水量}(1\text{万m}^3/\text{日})}$	9.00	11.00	11.00	11.94	

## (7)料金に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水原価[円]	$\frac{\text{経常費用}-\text{受託工事費}-\text{付帯工事費}-\text{材料売却原価}}{\text{年間総有収水量}}$	148.86	172.26	163.41	163.74	1m <sup>3</sup> あたりの生産原価。
供給単価[円]	$\frac{\text{給水収益}}{\text{年間総有収水量}}$	149.75	168.94	184.41	184.06	1m <sup>3</sup> あたりの販売単価。
料金回収率[%]	$\frac{\text{供給単価}}{\text{給水原価}} \times 100$	100.60	98.07	112.85	112.41	
1ヶ月10m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金[円]		1,376	1,536	1,155	1,155	
1ヶ月20m <sup>3</sup> 当たり 家庭用料金[円]		2,848	3,159	2,940	2,940	

## (8)費用に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
費用構成比						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{費用合計}} \times 100$	13.33	12.35	14.32	14.40	
支払利息[%]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{費用合計}} \times 100$	10.19	9.88	14.13	13.90	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{費用合計}} \times 100$	36.83	34.25	40.82	40.23	
動力費[%]	$\frac{\text{動力費}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.06	5.01	7.30	7.89	
光熱水費[%]	$\frac{\text{光熱水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.17	0.15	0.12	0.12	
通信運搬費[%]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.60	0.57	0.99	1.01	
修繕費[%]	$\frac{\text{修繕費}}{\text{費用合計}} \times 100$	5.30	5.02	5.94	6.20	
材料費[%]	$\frac{\text{材料費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.35	0.38	1.23	0.95	
薬品費[%]	$\frac{\text{薬品費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.52	0.68	0.44	0.50	
路面復旧費[%]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{費用合計}} \times 100$	0.25	0.15	0.42	0.45	
委託料[%]	$\frac{\text{委託料}}{\text{費用合計}} \times 100$	9.21	7.28	10.78	10.10	
受水費[%]	$\frac{\text{受水費}}{\text{費用合計}} \times 100$	10.63	17.97	0.00	0	
その他[%]	$\frac{\text{その他}}{\text{費用合計}} \times 100$	6.56	6.30	3.53	4.25	

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
給水収益中						
職員給与費[%]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{給水収益}} \times 100$	13.25	12.59	12.68	12.80	給水収益と比較した場合の各費用の比率を示した指標。
企業債利息[%]	$\frac{\text{企業債利息}}{\text{給水収益}} \times 100$	10.13	10.07	12.50	12.34	
減価償却費[%]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{給水収益}} \times 100$	36.61	34.93	36.12	35.74	
企業債償還元金[%]	$\frac{\text{企業債償還元金}}{\text{給水収益}} \times 100$	26.32	25.69	25.11	34.87	

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
有収水量1m <sup>3</sup> 当たり						
職員給与費[円]	$\frac{\text{職員給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	19.84	21.28	23.37	23.55	
基本給[円]	$\frac{\text{基本給}}{\text{年間総有収水量}}$	9.95	11.27	12.19	11.83	
手当[円]	$\frac{\text{手 当}}{\text{年間総有収水量}}$	4.63	5.20	6.50	7.09	
賃金[円]	$\frac{\text{賃 金}}{\text{年間総有収水量}}$	0.34	0.49	0.00	0.00	
退職給与費[円]	$\frac{\text{退職給与費}}{\text{年間総有収水量}}$	1.55	0.39	0.62	0.74	
法定福利費[円]	$\frac{\text{法定福利費}}{\text{年間総有収水量}}$	3.38	3.93	4.06	3.89	
支払利息[円]	$\frac{\text{支払利息}}{\text{年間総有収水量}}$	15.17	17.02	23.05	22.72	
減価償却費[円]	$\frac{\text{減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	54.82	59.00	66.60	65.77	
動力費[円]	$\frac{\text{動 力 費}}{\text{年間総有収水量}}$	9.02	8.63	11.91	12.90	
光熱水費[円]	$\frac{\text{光 熱 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.25	0.25	0.20	0.20	
通信運搬費[円]	$\frac{\text{通信運搬費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.89	0.99	1.61	1.65	
修繕費[円]	$\frac{\text{修 繕 費}}{\text{年間総有収水量}}$	7.89	8.65	9.69	10.13	
材料費[円]	$\frac{\text{材 料 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.53	0.66	2.00	1.55	
薬品費[円]	$\frac{\text{薬 品 費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.77	1.18	0.72	0.81	
路面復旧費[円]	$\frac{\text{路面復旧費}}{\text{年間総有収水量}}$	0.37	0.26	0.68	0.74	
委託料[円]	$\frac{\text{委 託 料}}{\text{年間総有収水量}}$	13.71	12.54	17.58	16.52	
受水費[円]	$\frac{\text{受 水 費}}{\text{年間総有収水量}}$	15.82	30.95	0.00	0.00	
その他[円]	$\frac{\text{そ の 他}}{\text{年間総有収水量}}$	9.77	10.87	5.75	6.95	
費用合計[円]	$\frac{\text{費 用 合 計}}{\text{年間総有収水量}}$	148.86	172.26	163.18	163.51	
資本費[円]	$\frac{\text{企業債利息+減価償却費}}{\text{年間総有収水量}}$	79.14	94.54	89.66	88.49	
利子負担率[%]	$\frac{\text{支 払 利 息}}{\text{企業債+一時借入金+借入資本金}}$	2.45	2.48	0.02	0.02	外部利子の平均利率を示す

(9)繰入金の状況に関する項目

項目	算式	24年度			25年度	備考
		全 国 平 均	全 国 同 規 模	尾 鷲 市		
繰入金比率[%] (収益的収入分)	$\frac{\text{繰入金(収益的収入分)}}{\text{総 収 益}} \times 100$	3.15	4.63	1.11	1.10	収入における繰入金依存度を分析する比率。
繰入金比率[%] (資本的収入分)	$\frac{\text{繰入金(資本的収入分)}}{\text{資 本 的 収 入 計}} \times 100$	15.54	19.17	19.03	4.18	

## VI. 施設概要

### 1. 水源施設数

(1)水源施設（送水・消毒設備 11箇所）

矢ノ浜・須賀利・九鬼・早田・三木浦第1・三木浦第2・三木里・賀田第1(北)・  
賀田第1(南)・曾根・梶賀

(2)取水施設

取水施設名		水源名	箇所数	
上水道	矢ノ浜	地下水(浅井戸) 1号井・2号井・3号井・4号井・5号井・6号井	6	
		矢ノ川伏流水 1号井・2号井	2	
簡易水道	須賀利	地下水(浅井戸) 1号井・2号井	2	
	九鬼	滝ノ頭川表流水	1	
	早田	大川表流水	1	
	三木浦	第1	三木谷川表流水	1
		第2	浦越川表流水	1
	三木里	八十川伏流水 1号井	1	
	賀田第1	北	地下水(浅井戸) 1号井	1
		南	地下水(浅井戸) 1号井	1
	曾根	逢神川表流水	1	
梶賀	梶賀川表流水	1		
合計			19	

2. 各施設ポンプ能力(53台)

区分	施設名	用途	口径φ (mm)	毎分流量 (m <sup>3</sup> /min)	24時間流量 1日最大(m <sup>3</sup> )	全揚程 (m)	出力 (kW)	台数 (台)
上水道	矢ノ浜浄水場	送水	250	7.00	10,080	79.0	132.0	2
		配水	200	5.60	8,064	59.0	90.0	3
		取水	100	2.78	4,003	22.0	18.5	2
		取水	200	4.17	6,004	20.0	30.0	2
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	80	0.84	1,210	42.5	5.5	1
		取水	125	1.25	1,800	42.5	11.0	1
		取水	80	0.50	720	20.0	5.5	1
		取水	100	1.60	2,304	25.0	11.0	1
		取水	80	0.50	720	26.0	5.5	1
		ろ過	200	5.00	7,200	18.0	30.0	1
	馬越 送水ポンプ場	送水	80	0.40	576	112.0	18.5	2
	泉台 加圧ポンプ場	配水	100	0.80	1,152	67.0	18.5	2
	光ヶ丘 送水ポンプ場	送水	100	1.10	1,584	5.5	18.5	2
向井 加圧ポンプ場	配水	80	0.50	720	65.0	11.0	2	
簡易水道	須賀利浄水場	配水	65	0.80	1,152	72.0	15.0	2
		取水	50	0.38	540	15.0	1.5	4
	三木浦第1 浄水場	送水	80	1.10	1,584	47.0	15.0	2
	三木浦第2 浄水場	送水	50	0.32	454	72.0	7.5	2
		逆洗	100	1.10	1,584	19.5	5.5	2
	三木里浄水場	送水	80	0.45	648	75.0	15.0	2
		取水	80	0.50	720	10.0	5.5	2
	賀田第1(北) 浄水場	送水	100	1.00	1,440	60.0	18.5	2
	賀田第1(南) 浄水場	送水	80	0.50	720	87.0	15.0	2
		取水	80	1.50	2,160	13.0	5.5	2
		逆洗	150	2.70	3,888	17.0	11.0	2
	賀田第2 加圧ポンプ場	配水	100	0.97	1,397	60.0	18.5	2
	古江加圧 ポンプ場	配水	80	0.70	1,008	63.0	15.0	2
曾根 加圧ポンプ場	配水	40	0.22	317	—	2.2	1	

3. 電力使用量【矢ノ浜浄水場：年度別】[単位:kWh]

年度 月	20	21	22	23	24	25
4月	152,160	132,448	143,633	149,381	124,824	129,576
5月	155,940	123,096	147,106	139,332	123,720	128,244
6月	147,180	131,484	150,545	142,780	127,188	136,908
7月	152,580	162,372	147,676	154,256	132,972	136,896
8月	174,456	166,884	170,449	159,403	142,524	140,244
9月	152,952	137,556	167,294	161,907	137,532	137,256
10月	153,924	135,312	152,532	148,559	127,392	126,420
11月	164,388	121,080	148,356	149,372	127,392	124,488
12月	170,412	130,032	141,846	137,531	121,992	119,820
1月	167,232	128,736	157,166	149,562	132,516	124,368
2月	134,028	112,428	169,923	146,939	133,092	126,552
3月	137,280	124,188	142,107	139,152	120,096	120,228
合計	1,862,532	1,605,616	1,838,633	1,778,174	1,551,240	1,551,000

4. 配水池・ポンプ井貯水能力一覧表

区分	施設名	名称	容量[m <sup>3</sup> ]
上水道	矢ノ浜浄水場	配水池 1 号	3,322
		配水池 2 号	2,512
	桂山配水池	配水池	5,750
	泉台加圧ポンプ場	ポンプ井	140
	光ヶ丘送水ポンプ場	ポンプ井	58
	光ヶ丘配水池	配水池	1,000
	馬越送水ポンプ場	ポンプ井	122
	馬越配水池	配水池	107
	向井加圧ポンプ場	ポンプ井	102
簡易水道	須賀利浄水場	ポンプ井	303
	九鬼配水池	配水池	279
	早田浄水場	配水池	64
	三木浦第 1 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦第 2 浄水場	ポンプ井	82
	三木浦配水池	配水池	450
	三木里浄水場	ポンプ井	104
	三木里配水池	配水池	375
	賀田配水池	配水池	246
	賀田第 1(南)浄水場	ポンプ井	65
	賀田第 2 加圧ポンプ場	ポンプ井	350
	古江加圧ポンプ場	ポンプ井	216
	曾根配水池	配水池	100
	梶賀配水池	配水池	39

5. 施設所在地

施設名	所在地
矢ノ浜浄水場	尾鷲市矢浜四丁目 4 番 8 号
桂山配水池	尾鷲市大字南浦矢ノ浜上ノ山 1917-32
馬越送水ポンプ場	尾鷲市北浦西町 1508
馬越配水池	尾鷲市馬越町 3838
泉加圧ポンプ場	尾鷲市古戸野町 4-18
光ヶ丘送水ポンプ場	尾鷲市光ヶ丘 13-31
光ヶ丘配水池	尾鷲市大字南浦 1836-2
向井加圧ポンプ場	尾鷲市大字向井 195-4、195-5
須賀利浄水場	尾鷲市須賀利町 505-1
九鬼配水池	尾鷲市九鬼町 305
早田浄水場	尾鷲市早田町 252-1
三木浦第 1 浄水場	尾鷲市三木浦町 53
三木浦第 2 浄水場	尾鷲市早田町 351-6
三木浦配水池	尾鷲市三木浦町 303-20
三木里浄水場	尾鷲市三木里町 1123
三木里配水池	尾鷲市三木里町 902-3
賀田第 1(北)浄水場	尾鷲市賀田町 972-180
賀田第 1(南)浄水場	尾鷲市賀田町 970-3
賀田第 2 加圧ポンプ場	尾鷲市賀田町 318-36
古江加圧ポンプ場	尾鷲市古江町 670-21
賀田配水池	尾鷲市賀田町 1008-2
曾根配水池	尾鷲市曾根町 376-3
曾根加圧ポンプ場	尾鷲市曾根町 520-2
梶賀配水池	尾鷲市梶賀町寺ノ上 149



## VII. 設 備

### 1. 上水道

#### (1) 矢ノ浜浄水場

##### 【No.1】

公 称 能 力	14,500 m <sup>3</sup> /日		
経 歴	昭和 41 年竣工 平成 19 年度 新矢ノ浜浄水場築造		
配 水 池	1 号配水池 PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ 23.0m×有効 8.0m Ve=3,322 m <sup>3</sup>		1 池
	2 号配水池 PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ 20.0m×有効 8.0m Ve=2,512 m <sup>3</sup>		1 池
送 水 ホ ン プ	送水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 1 台) φ 250mm×φ 150mm×7.0 m <sup>3</sup> /min×79m×132kw		2 台
	配水ポンプ 両吸込渦巻ポンプ (内予備 2 台) φ 200mm×φ 150mm×5.6 m <sup>3</sup> /min×59m×90kw		3 台
取 水 ホ ン プ	伏流水 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100mm×2.78 m <sup>3</sup> /min×22m×18.5kw		2 台
	伏流水 2 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm×4.17 m <sup>3</sup> /min×20m×30kw		2 台
	浅井戸 1 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1 台
	浅井戸 2 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.84 m <sup>3</sup> /min×42.5m×5.5kw		1 台
	浅井戸 3 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 125mm×1.25 m <sup>3</sup> /min×42.5m×11kw		1 台
	浅井戸 4 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×20m×5.5kw		1 台
	浅井戸 5 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 100mm×1.6 m <sup>3</sup> /min×25m×11kw		1 台
	浅井戸 6 号井取水ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 80mm×0.5 m <sup>3</sup> /min×26m×5.5kw		1 台
ろ 過 ホ ン プ	ろ過機水中ポンプ 水中渦巻ポンプ φ 200mm×5.0 m <sup>3</sup> /min×18m×30kw		1 台
消 毒 設 備	薬 注 ホ ン プ	定量比例注入ポンプ 1・2 号 0.6~17ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 3 号 (内予備 1 台) 1.7~51ml/min 1.0MPa	2 台
		定量比例注入ポンプ 4 号 (内予備 1 台) 3.4~102ml/min 0.7MPa	2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 φ 1.3m H=1.62m 素材 ポリエチレン Ve=1.5 m <sup>3</sup>		2 台

【No.2】

ホ°ンフ°井 (着水井)	伏流水1号井	楕円形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ8.0m×H9.0m	1井	
	伏流水2号井	長方形 RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.0m×L12.5m×H7.0m	1井	
	浅井戸1号井	SPφ600mm×H15m	1井	
	浅井戸2号井	SPφ400mm×H15m	1井	
	浅井戸3号井	SPφ400mm×H15m	1井	
	浅井戸4号井	SPφ600mm×H15m	1井	
	浅井戸5号井	SPφ400mm×H15m	1井	
	浅井戸6号井	SPφ600mm×H15m	1井	
集水管	集水埋管伏流水1号	有孔 HP φ700mm~L=150m	1式	
	集水埋管伏流水2号	有孔 HP φ1,500mm~L=243m	1式	
ホ°ンフ°井 (ろ過)	ろ過ホ°ンフ°井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×深さ4.0m	1井	
契約電力	高压電力 B	515A・kw 力率97%		
受変電設備	高压変圧器	6.6kv/420 500kVA	2台	
ろ過器	ろ過器	急速ろ過器 動式密閉型 1池当り4分割 ろ過速度120m/日	1台	
電気計装設備	流量計	1・4号井取水流量計 φ300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		2・3・5・6号井取水流量計 φ300mm 0~450 m <sup>3</sup> /h 水中型電磁式	1台	
		伏流水1号井取水流量計 φ400mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 超音波式	1台	
		伏流水2号井取水流量計 φ500mm 0~1,000 m <sup>3</sup> /h 水中型超音波式	1台	
		送水流量計 φ250mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
		配水流量計 φ300mm 0~800 m <sup>3</sup> /h 電磁式	1台	
	水位計	投込式	0~10m 配水池用	2台
			浅井戸用	4台
			自動通報装置付中央監視装置	1台
			テレメータ親局	1式
自家発電設備	ガスタービン式発電機	発電機 3φ3w 500kVA 6600V 4極 ガスタービン 単純開放サクル1軸式 441kw	1台	
	燃料タンク	A重油1種1号 1500ℓ	1台	
	地下タンク	A重油1種1号 7000ℓ	1台	

## (2)桂山配水池

公称能力	貯水量 5,750 m <sup>3</sup>	
経歴	昭和 41 年 竣工 平成 16 年度 送水ポンプ 取替工事 平成 19 年度 緊急遮断弁設置工事 平成 25 年度 桂山配水池築造工事	
配水池	配水池 ステンレス製角型 内法 W23.0m×L25.5m×有効 10.58m=約 2,875 m <sup>3</sup> Ve=2,875 m <sup>3</sup> ×2 池=5,750 m <sup>3</sup>	2 池
契約電力	従量電灯 B 60A・kw	
電気設備	水位計 投込式液面発信器 0~10m	2 台
	無停電電源装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	緊急遮断弁 マーキング型緊急遮断弁ウェット式 油圧分離型 [震度・流量併用感知方式] 内面エポキシ樹脂粉体塗装 φ 300 バタフライ式 弁箱肉厚 13mm φ 150 バタフライ式 弁箱肉厚 15mm	1 台 1 台
	地震監視装置 (地震ウォッチャー) 型式 : SW-74	1 台
	テレメータ SAS55 子局	1 台

## (3)馬越送水ポンプ場

公称能力	576 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成12年度 送水・配水池機械電気設備	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.15m×L4.0m=16.6 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライトカップリング付) φ80×0.4 m <sup>3</sup> /min×112m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=70 m <sup>3</sup> 内法 W3.0m×L5.0m×有効3.5m Ve=52.5 m <sup>3</sup>	1池 1池
契約電力	低圧電力 26A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	水位指示警報計 配水池水位計 0~3m DC1~5v	1台
	積算カウンター 配水池流量 8桁	1台
	2ペン記録計 水位・配水量	1台
	自動通報装置	1台
	直流電源装置	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 14.5ml/min 1.0MPa ストローク数 23s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	1台
自家発電設備	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台
	燃料タンク 30ℓ	1台

## (4)馬越配水池

公称能力	貯水量 107 m <sup>3</sup>	
経歴	平成12年度 馬越配水池改良工事	
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.2×L3.5×有効3.0=65.1 m <sup>3</sup> 内法 W6.2×L3.5×有効1.9=42.23 m <sup>3</sup> Ve=65.1 m <sup>3</sup> +42.23 m <sup>3</sup> =107.3 m <sup>3</sup>	1池 1池

## (5)泉台加圧ポンプ場

公称能力	1,152 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和50年度 竣工		
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W10.6m×L8.6m=90 m <sup>2</sup>	1室	
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイール付) φ100×0.8 m <sup>3</sup> /min×67m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台	
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W10.6m×L8.6m×有効1.5m Ve=140 m <sup>3</sup>	1池	
契約電力	低圧電力 22A・kw 力率90% 従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	コンプレッサー	1台	
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ2.6m×L5.18m Ve=30.8 m <sup>3</sup> 最高使用圧力 6kg/c m <sup>2</sup> 銅板 16mm 鏡板 22mm	1台	
	水位計	フロート液面発信機(FNF型)	1台
		デジタル指示警報計 0~5m	1台
	配水圧力 デジタル指示警報計 0~10kg/c m <sup>2</sup>	1台	
	直流電源装置	1台	
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷式	1台	
	燃料タンク 350	1台	

## (6)光ヶ丘送水ポンプ場

公称能力	1,584 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和60年度 電気・計装改築工事 平成18年度 ポンプ取替工事(防振架台)	
ポンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.1m×L5.7m=29 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ(防振架台) φ100×1.1 m <sup>3</sup> /min×5.5m×18.5kw 1,735rpm(内予備1台)	2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.7m×L5.1m×有効2.0m Ve=58.1 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率90% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	配水流量計	1台
消毒設備	薬注ポンプ 薬液定量ポンプ 34cc/min 15MPa ストローク長 3m/m	2台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台

## (7)光ヶ丘配水池

公称能力	貯水量 1,000 m <sup>3</sup>	
経歴	昭和61年 竣工 平成17年度 緊急遮断弁オーバーホール	
配水池	PC造り(鉄筋コンクリート造) 内径φ16.0m×有効5.0m Ve=1,000 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	従量電灯B 15A・kw	
電気設備	緊急遮断弁 マーキング型緊急遮断弁(分離型) 震度感知方式 口径φ200mm バタフライ形式 面間300mm 弁箱の肉厚13mm 右回し開き 使用最高圧力0.45MPa	1台
	水位計	1台

## (8)向井加圧ポンプ場

公称能力	720 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 51 年度 竣工 平成 17 年度 電気制御盤更新		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W4.55m×L7.45m=34 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 80×0.5 m <sup>3</sup> /min×65m×11kw 1,800rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.55m×L7.45m×有効 3.0m Ve=102 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 14A・kw 力率 80% 従量電灯 B 20A・kw		
電気設備	コンプレッサー POD-0.75LT 0.75kw3Φ 0.2~0.69MPA 65 回転/min		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横円筒型) φ 1.9m×L4.6m Ve=14.3 m <sup>3</sup> 最高使用圧 5kg/c m <sup>2</sup> 銅板 12mm 鏡板 12mm		1 台
	水位計	フロート液面発信器	1 台
		水位指示計 0~4m	1 台
	直流電源装置		1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式		1 台
	燃料タンク 100ℓ		1 台

## 2. 簡易水道

### (1) 須賀利浄水場

公称能力	297 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 56 年度 竣工 平成 17 年度 電波発信型水位計更新		
ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=48 m <sup>2</sup>		1 室
加圧ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup>	多段渦巻きホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> φ 65×0.8 m <sup>3</sup> /min×72m×15kw 1,800rpm(内予備 1 台)		2 台
取水ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup>	水中渦巻きホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> φ 50×0.375 m <sup>3</sup> /min×15m×1.5kw 3,400rpm		4 台
ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W11.9m×L10.9m×有効 2.5m Ve=303 m <sup>3</sup>		1 池
取水井	RC 造り(鉄筋コンクリート造)	1 号井 内法 φ 3.0m×深さ 6.0m	1 井
		2 号井 内法 φ 1.2m×深さ 6.2m	1 井
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	水位計 電波発信型水位計		1 台
	流量計 電磁流量計		1 台
	加圧タンク 圧力水槽(横置円筒型) 胴の最大内径 1.2m~1.6m 9.5kg/c m <sup>2</sup> 内容積 2.15 m <sup>3</sup>		1 台
	自動給水装置 最大 800ℓ /min 起動圧力選定範囲 5.1~6.8kg/m <sup>2</sup>		1 台
	自動通報装置		1 台
	直流電源装置		1 台
	テレメーター SAS55 子局		1 台
消毒設備	薬注ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 定量注入ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

### (2) 九鬼配水池

公称能力	495 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 57 年度 急速ろ過器設備 平成 19 年度 急速ろ過器自動逆洗化工事		
ろ過器	急速ろ過器 RSF 型ろ過器 4 型 20 m <sup>3</sup> /h		1 台
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W13.7m×L3.4m×有効 3.0m=139.7 m <sup>3</sup> Ve=139.7 m <sup>3</sup> ×2 池=279.4 m <sup>3</sup>		2 池
契約電力	従量電灯 B 30A・kw		
電気設備	自動通報装置		1 台
	テレメーター SAS15 子局		1 台
消毒設備	薬注ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 定量注入ホ <sup>ン</sup> フ <sup>ン</sup> 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1 台



## (3)早田浄水場

公称能力	81 m <sup>3</sup> /日		
経歴	平成4年度 電気計装設備 平成17年度 水中型電磁流量計更新		
ろ過池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 緩速ろ過 W5.9m×L4.0m×H2.6m H2.6m内→ろ過砂0.8m 小砂0.1m 中砂0.1m 大砂0.15m 真空有孔レガ、空洞ブロック0.25m		2池
沈殿槽	RC造り(鉄筋コンクリート造) 普通沈澱池		2池
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W4.0m×L3.5m×有効2.3m=32.2 m <sup>3</sup> Ve=32.2 m <sup>3</sup> ×2池=64.4 m <sup>3</sup>		2池
契約電力	従量電灯B 40A・kw		
電気設備	配水流量計	水中型電磁流量計	1台
		デジタル積算計	1台
	テレメータ SAS15 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (4)三木浦第1浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和56年度 竣工		
計装室 (滅菌室)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=3.75m×2m=7.5 m <sup>2</sup>		1室
送水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.1 m <sup>3</sup> /min×47m×15kw 3,600rpm (内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造)		1池
契約電力	低圧電力 18A・kw 力率80% 従量電灯B 15A・kw		
電気設備	自動通報装置		1台
	テレメータ SAS15 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台

## (5)三木浦第2浄水場

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 63 年度 竣工 平成 19 年度 送水ポンプ 取替工事		
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W9.0m×L5.5m=49.5 m <sup>2</sup>		1 室
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ φ 50×0.315 m <sup>3</sup> /min×72m×7.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻ポンプ φ 100×1.10 m <sup>3</sup> /min×19.5m×5.5kw 1,730rpm (内予備 1 台)		2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.5m×有効 2.3m Ve=82.2 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	低圧電力 16A・kw 力率 90% 従量電灯 B 50A・kw		
ろ過器	横型凝集沈殿装置 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
電気設備	SASIO テレメータテレコントロール装置 親局		1 台
	ろ過器 急速ろ過器 10 m <sup>3</sup> /h		2 台
	表面散乱形濁度計 W301+WA203+WLS30T		1 台
	無試薬遊離塩素計(パイプスタント形)ZXM		1 台
	流量計		1 台
	テレメータ SAS55 子局		1 台
消毒設備	次亜塩素素注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	PAC 注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	ソーダ灰注入ポンプ 定量注入ポンプ		2 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 YT-200		2 台
	PAC 貯槽 YT-200		2 台
	ソーダ灰貯槽 YT-200 攪拌機付 PG-1		2 台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 50KVA		1 台
	燃料タンク 200ℓ		1 台

## (6)三木浦配水池

公称能力	326 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和 55 年度 竣工		
配水池	PC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 φ 10.9m×有効 5.2m Ve=450 m <sup>3</sup>		1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw		
電気設備	テレメータ・コントロール装置 SAS-10 子局		1 台
	水位計	光ファイバー式投込液面/圧力発信機	1 台
		光ファイバー式電気変換機 PSN	1 台
	流量計		1 台

## (7)三木里浄水場

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和53年度 竣工 平成15年度 電気計装盤更新 平成18年度 濁度計・残塩計・流量計取付更新 平成20年度 非常用発電機取替工事		
送水ポンプ	多段渦巻ポンプ (フライホイールカップリング付) φ80×0.45 m <sup>3</sup> /min×75m×15kw 1,800rpm(内予備1台)		2台
取水ポンプ	水中渦巻ポンプ φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×10m×5.5kw 3,600rpm(内予備1台)		2台
ポンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.85m×L5.85m×有効2.6m Ve=104 m <sup>3</sup>		1池
契約電力	低圧電力 24A・kw 力率90% 従量電灯B 30A・kw		
電気設備	水位計	フロート液面発信機	1台
		現地式水位計	1台
	流量計	電磁流量計(水中形) φ150mm	1台
	自動通報装置		1台
	直流電源装置		1台
	残留塩素計	ポーラグラフ法 AC100V	1台
	濁度計	散乱光方式 AC100V	1台
	サンプリングポンプ	AC100V φ20mm	1台
	テレメーター SAS55 子局		1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m		1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ		1台
自家発電設備	三相交流ディーゼル発電機 74KVA		1台
	燃料タンク 200ℓ		1台

## (8)三木里配水池

公称能力	643 m <sup>3</sup> /日		
経歴	昭和53年度 竣工		
配水池	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.8×L9.2m×有効3.0m=187.7 m <sup>3</sup> Ve=187.7 m <sup>3</sup> ×2池=375 m <sup>3</sup>		2池
電気設備	投込式 水位計		1台

## (9)賀田第1(北)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成7年度 送水ポンプ改修工事 平成12年度 電気盤更新	
ホンプ室	RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W5.6m×L4.7m=26.3 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きタービンポンプ φ100×1.0 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
ホンプ井(井戸)	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法φ3.0m×深さ11.5m	1井
契約電力	低圧電力 40A・kw 力率80% 従量電灯B 20A・kw	
電気設備	流量計 電磁式 最大流量1,140 m <sup>3</sup> /h 過度流量11.4 m <sup>3</sup> /h	1台
	積算カント	1台
	直流電源装置	1台
	テレメーター SAS15 子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン φ500mm H=770mm Ve=100ℓ	2台
エンジン	ディーゼルエンジン 4サイクル水冷直列	1台
	燃料タンク 60ℓ	1台
	予備タンク 90ℓ	1台

## (10)賀田第1(南)浄水場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和57年度 竣工	
ホンプ室	平成17年度 送水ポンプ及び濁度計更新工事 RC造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W11.5m×L5m=57.5 m <sup>2</sup>	1室
送水ポンプ	多段渦巻きポンプ (フライホイール付) φ80×0.5 m <sup>3</sup> /min×87m×15kw 1,800rpm (内予備1台)	2台
逆洗ポンプ	片吸込渦巻きポンプ φ150×2.7 m <sup>3</sup> /min×17m×11kw (内予備1台)	2台
取水ポンプ	水中渦巻きポンプ φ80×1.5 m <sup>3</sup> /min×13m×5.5kw (内予備1台)	2台
ホンプ井	RC造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W6.5m×L5.0m×有効2.0m Ve=65 m <sup>3</sup>	1池
契約電力	低圧電力 35A・kw 力率90% 従量電灯B 15A・kw	
ろ過器	小型凝集沈殿浄化装置 20 m <sup>3</sup> /h	2台
電気設備	濁度測定装置 表面散乱光測定方式	1台
	自動通報装置	1台
	濁度計	1台
	テレメーター SAS55 子局	1台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=200ℓ	1台

## (11)賀田第2加圧ポンプ場

公称能力	1,396 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成 11 年度 ポンプ改修工事 平成 17 年度 ポンプ改修工事	
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L13.5m=182.3 m <sup>2</sup>	1 室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ100×0.97 m <sup>3</sup> /min×60m×18.5kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.4m×L5.4m×有効 3.0m Ve=87.5 m <sup>3</sup> ×4 池=350 m <sup>3</sup>	4 池
契約電力	低圧電力 27A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	加圧タンク 第二種圧力容器 φ2.7m×L6.5m Ve=37.2 m <sup>3</sup> 最高使用圧 7.1kg/c m <sup>2</sup> 最低使用圧 6.0kg/c m <sup>2</sup>	1 台
	自動通報装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	流量計	1 台
	レレメーター SAS15 子局	1 台
エンジン	ディーゼルエンジン	1 台
	燃料タンク 90ℓ	1 台

## (12)古江加圧ポンプ場

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成 14 年度 ポンプ改修工事 平成 20 年度 電気計装盤取替工事	
ポンプ室	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 面積 A=W13.5m×L6m=81 m <sup>2</sup>	1 室
加圧ポンプ	多段渦巻きポンプ バランスディスク形 φ80×0.7 m <sup>3</sup> /min×63m×15kw 1,800rpm (内予備 1 台)	2 台
ポンプ井	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W12m×L6m×有効 3.0m Ve=216 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	低圧電力 21A・kw 力率 90% 従量電灯 B 20A・kw	
電気設備	コンプレッサー 3.7kw オイルフリーヘビコン 0.93MPa 850rpm 405ℓ /min	1 台
	加圧タンク 圧力容器(横円筒型) φ2.2m×L4.5m Ve=19.3 m <sup>3</sup> 9kg/c m <sup>2</sup> 胴板 19mm 鏡板 19mm	1 台
	自動通報装置	1 台
	直流電源装置	1 台
	流量計	1 台
	レレメーター SAS15 子局	1 台
	投込式 水位計	1 台
エンジン	ディーゼルエンジン 4 サイクル水冷式	1 台
	燃料タンク 90ℓ	1 台

## (13)賀田配水池

公称能力	1,000 m <sup>3</sup> /日	
経歴	平成 18 年度 投込圧力式水位計更新	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W9m×L5m×有効 2.75m=123.8 m <sup>3</sup> Ve=123.8×2 池=247.6 m <sup>3</sup>	2 池
電気設備	水位計 投込圧力式 DC4~20mA	1 台

## (14)曾根配水池

公称能力	84 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和 29 年度 竣工	
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W7.3m×L6.0m×有効 2.3m=100.7 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 10A・kw(配水池施設) 低圧電力 3A・kw 力率 80%(加圧タンク施設)	
電気設備	加圧タンク φ40mm 2.2kw 0.2 m <sup>3</sup> /min タンク容量 0.5 m <sup>3</sup>	1 台
	加圧ポンプ φ40×0.22 m <sup>3</sup> /min×2.2kw	1 台
	※加圧タンク及び加圧ポンプは配水池とは別の場所に設置	
	流量計	1 台
	テレメーター SAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台

## (15)梶賀配水池

公称能力	152 m <sup>3</sup> /日	
経歴	昭和 35 年度 竣工	
沈殿槽	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W1.2m×L1.0×3.5m	1 池
配水池	RC 造り(鉄筋コンクリート造) 内法 W5.0m×L3.0m×有効 H2.6m Ve=39 m <sup>3</sup>	1 池
契約電力	従量電灯 B 15A・kw	
電気設備	流量計 φ80	1 台
	φ40	1 台
	テレメーター SAS15 子局	1 台
消毒設備	薬注ポンプ 定量注入ポンプ 30ml/min 1.0MPa ストローク数 300s.p.m	1 台
	次亜塩素酸ソーダ貯槽 ポリエチレン Ve=2000	1 台

〒519-3671  
三重県尾鷲市矢浜四丁目4番8号  
**尾鷲市水道部**  
電話：0597-23-8271  
FAX：0597-23-8276  
e-mail：suidou@city.owase.lg.jp